

# 言語活動の充実を図った国語科の単元構想のしかた

(※下から上へ読んでください。)

(5年 伝記を読んで、自分の生き方について考えよう「百年後のふるさとを守る」を例に)

⑤単元の導入で意欲と見通しを持たせるには(第一次)・・・

- 教師2人が「ヒーローインタビュー」を演示する。
- 単元の学習課題を設定し、おおまかな学習計画により単元を見通す。



④その力を身に付けられる指導過程(第二次)は・・・

- はじめと終わりを比べ、偉人の変容と世の中の変化を読み取る。
- 文章全体から偉人の行動の大体を読み取る。
- 洗い出した行動をもとに、その行動の裏にある偉人の思いを考える。
- 行動と思いをもとに心情曲線をかく。
- 自分と比べながら偉人の生き方に迫るミニインタビューを書く。



伝記の並行読書



③そのために必要な力は・・・

- 出来事、説明、解説の関係をおさえながら読む力
- 自分の経験や知識とかかわらせながら読む力
- 読んだことと自分とかかわらせながら自分の考えをもつ力
- 根拠を明らかにしながら自分の考えを表現する力



②その力を身に付けるのにぴったりの言語活動(第三次)は・・・

好きな伝記を選び、自分が記者となり偉人にインタビューする  
「ヒーローインタビュー」をする  
※この言語活動は坂下小学校さんのアイディアです。



①単元で身に付けたい力は・・・

- ◎ 事実や考え方、生き方が書いてある伝記を、自分の体験や知識、読書経験、ふだん考えていることなどとかかわらせながら、自分の考えをまとめ、表現する力
  - 自分と比べるという目的を持って、摘読や多読などの効果的な読みができる。  
(読むこと イ)
  - 伝記を読んで自分の生き方について考えたことを発表し合い、考えをさらに深めることができる。  
(読むこと オ)
  - 同じ伝記でも、構成のしかたによって読み手への伝わり方が異なることを理解できる。  
(伝国 イ(キ))